

サウンドヒーリングの体感音響システムによる整形外科疾患の痛みの変化

体感音響による30分コースの施術、VAS(Visual Analogue Scale)の評価

氏名/ 疾患	運動習慣	疼痛部位	施術前	施術後	前後差
Dさん <small>胸椎陳旧性圧迫骨折</small>	なし	背中	35	0	-35
Eさん <small>両側変形性膝関節症</small>	体操	両肩	60	40	-20
		両膝	50	40	-10
Fさん <small>腰部脊柱管狭窄症</small>	体操	左肩	40	25	-15
		腰	50	15	-35
		右膝	30	5	-25
Gさん <small>右腓腹筋損傷</small>	バレエ	右下肢 <small>(特に臀部ふくらはぎ)</small>	75	0	-75
Hさん <small>筋筋膜性腰痛症</small>	エアロビクス	左下肢 <small>(腰から下腿にかけてしびれあり)</small>	55	30	-25

(当院臨床にて)

人体は、およそ60～70%を水分と骨で占めています。人体そのものは物理的に音が伝わりやすい媒体であり、人間は音に対する反応を顕著に表します。サウンドヒーリングの体感音響システムは、体を緩める低音域（150 Hz以下の音）を骨伝導にして体に伝えます。サウンドヒーリングの体感音響システムによるマッサージは、音波が振動として体の細胞一つひとつに細かな波紋を広げ、体感振動として体の深部にまで物理的なマッサージ効果を与えます。血流の改善、およそ80%が水分である筋組織の修復促進、また心理的なリラックス効果により自己治癒力が向上します。別々の整形外科疾患を持つ5人の方を対象に、サウンドヒーリングの体感音響システムによる30分コースの施術を実施。施術前と施術後でVASによる痛みの変化を評価しました。施術前と施術後では、平均で-32.5となり、様々な整形外科疾患に対する痛みの軽減傾向が見られました。施術直後の感想から、「体が軽くなった」「施術後は楽に歩ける」「施術前より体が動かせるようになった」とのお声をいただいております。痛みに対しての即効性も示唆され、リラクセーション効果と共に整形外科疾患の全般的な痛みの軽減効果が見受けられました。

※VAS (Visual Analogue Scale: 視覚アナログ尺度)は、痛みを数値化でき、感度がよく再現性があり、世界共通なものである。横線を使ったプラスチック定規型のもので、痛みなしを0とし、想像しうる最悪の痛みを100とする。

【その他のコース紹介】

■スポーツなど筋肉疲労ケアコース (45分) 4500円

◎スポーツをされる方にオススメ。シニアの方にも人気のコース◎

サウンドヒーリングを受けると筋肉が柔らかくなると同時に体内の老廃物が出やすくなります。

細胞レベルでの音波のマッサージが体内の活性酸素の働きを抑え、体の回復力をアップさせます。

■出産までの妊婦さん安心ケアコース (50分) 5000円

◎産婦人科でも採用され、おなかの赤ちゃんも喜ぶ出産直前まで受けられる人気のコース◎

胎児の状態に合わせ、楽な姿勢をとって頂きます。音波を伝える小型のサウンドクッションを腰、肩、足などにあて自律神経の働きを活性化し血流とリンパの流れをよくします。仙骨を中心に腰と足をケアし下半身を軽くします。

■フルボディー (+足ケア) デラックスコース (60分) 6000円

◎立ち仕事の方、足のむくみやだるさのある方、冷え症の方にオススメ◎

スタンダードコースに加えて膝、ふくらはぎ、足首、足の裏など足全体を丁寧にケアします。足がとても軽くなります。